

令和元年 12 月 25 日
近畿総合通信局

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の 令和2年度研究開発課題の公募及び研究支援施策説明会の開催について

総務省は、情報通信技術分野の競争的資金である「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE^注）」において、令和2年度から新規に実施する研究開発課題の公募を行います。

本公募に当たり、近畿総合通信局（局長：佐々木 祐二（ささき ゆうじ））は、本公募を始めとした情報通信に関する研究支援施策等についての説明会を令和2年1月10日（金）に開催いたします。

注 SCOPE: Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme

1 SCOPE令和2年度研究開発課題の公募

（1）公募期間

令和2年1月6日（月）から同年2月6日（木）17時まで

（2）公募を行うプログラム

研究開発課題を公募するプログラムは、下表のとおりです。プログラムの概要等は、別紙のとおりです。

プログラム名	採択予定数（全国）
社会展開指向型研究開発	
3年枠	11件程度
電波有効利用促進型研究開発	
先進的電波有効利用型	合わせて 15件程度
先進的電波有効利用型（社会展開促進型）	

（3）応募方法

- ・提案要領を御確認の上、提案書作成要領に従って提案書を作成してください。提案要領及び提案書作成要領は、以下のURLを御参照ください。

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/

- ・提案は、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を用いた電子申請としてください。本システムは、以下の URL から利用できます。

<https://www.e-rad.go.jp/>

2 研究支援施策説明会の開催

（1）説明内容

- ・総務省における科学技術イノベーション振興の取組について
- ・令和2年度SCOPEの公募説明について
- ・特定実験試験局制度及び技適未取得機器を用いた実験等の特例制度について
- ・NICTの地域連携活動について（研究連携・委託研究の紹介等）

（2）開催日時

令和2年1月10日（金）14時から90分程度を予定

（3）開催場所

総務省 近畿総合通信局 4階 会議室

（大阪府中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館）

（4）申込方法

近畿総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課 宛てに必要事項をご記入のうえ、電子メールでお申込みください。

メールアドレス：renkei-k/atmark/soumu.go.jp

（迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しています。メールをお送りになる際は、「/atmark/」を「@」に置き換えてください。）

○必要事項

件名：研究支援施策説明会 参加申込

本文：参加者の①氏名（ふりがな）、②所属（会社・団体名、部署及び役職）、
③連絡先（電話番号、メールアドレス）

（5）申込締切日

令和2年1月9日（水）17時

（定員（40名）に達し次第締切りとさせていただきます。）

※ 説明会に出席されなくても提案の応募は可能です。

(6) 個人情報の取扱い

お申込みの際にご記入いただいた氏名等の個人情報については、今後、当局主催イベント等の周知に使用させていただく場合がありますが、第三者に開示・提供・預託することはありません。

3 その他 留意事項

本研究開発課題の公募は、令和2年度予算成立後すみやかに研究開発を開始できるよう、予算成立前に実施するものです。したがって、予算成立状況に応じて内容に変更があり得ることをあらかじめ御了承ください。

その他不明な点に関しては、本件の連絡先までお問い合わせください。

【連絡先】

(社会展開指向型研究開発、研究支援施策説明会について)

情報通信部 情報通信連携推進課 (担当：井上、雲林院 (うじい))

電話： 06 - 6942 - 8623

E-mail：renkei-k/atmark/soumu.go.jp

(電波有効利用促進型研究開発について)

無線通信部 電波利用企画課 (担当：三宅、森)

電話： 06 - 6942 - 8543

E-mail：scope-kikakukinki/atmark/soumu.go.jp

(迷惑メール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。メールをお送りになる際には「/atmark/」を「@」に置き換えてください。)

今回公募を行うプログラムの概要

別紙

1

プログラム名	研究開発の概要	研究開発費※ (年度当たりの上限額)	研究開発期間
社会展開指向型 研究開発	IoT/BD/AI時代に対応して、実用化・社会実装を意識した、新たな価値の創造、社会システムの変革並びに地域の活性化及び課題の解決に寄与するICTの研究開発 3 年 枠 実行可能性や実現可能性の検証等を実施(フェーズⅠ)した上で、選抜評価を経て、更に、最長2年間の研究期間で実用化・社会実装に向けた研究開発を実施(フェーズⅡ)するもの	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
電波有効利用促進型 研究開発	電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発	【先進的電波有効利用型】 フェーズⅠ： 500万円 フェーズⅡ： 3000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
	電波を用いたIoTシステムの構築や社会展開を促進する新たなワイヤレスビジネスの創出を意識した研究開発	【先進的電波有効利用型 (社会展開促進)】 フェーズⅡ： 3000万円	フェーズⅡ：最長2か年度

※ 別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分。

プログラム名	採択評価の主な観点
社会展開指向型研究開発	<p>【3年枠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究開発の内容が先進的なものであるか。 ○ 研究開発成果が、ICTによる新たな価値の創造や社会システムの変革に寄与するものか。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、研究開発成果によって、社会的・経済的課題を情報通信技術の面から解決できるか。 ○ 研究開発手法が妥当であるか。 ○ 研究開発目的が社会的課題の解決に資する等、妥当なものであるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、地域の活性化や課題の解決に資する等、技術実証・社会展開を意識したものであるか。
電波有効利用促進型研究開発	<p>【先進的電波有効利用型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい電波利用の実現に向けた研究開発か。 ○ 以下のいずれかの技術であって、おおむね5年以内に開発される技術として到達目標が明確に設定されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・周波数を効率的に利用するための技術 ・周波数の共同利用を促進するための技術 ・高い周波数への移行を促進するための技術 <p>【先進的電波有効利用型(社会展開促進)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記に加え、 ○ 電波を用いたIoTシステム構築を目指した研究開発や新たなワイヤレスビジネスの創出や社会実装を意識した研究開発課題か。

詳細は、提案要領及び評価の手引を御参照ください。